

令和元年8月13日（火曜日）

少年サポートセンターで、『第2回性被害防止・護身術教室』を実施しました！

少年の居場所づくり実行委員会は、8月13日、少年サポートセンターにおいて、「第2回性被害防止・護身術教室」を開催し、少年4人、保護者3人、^{ジャンパーズ}「Jumpers」（北海道警察学生ボランティア）1人が参加しました。

講演会は、医療法人明日葉会札幌マタニティウイメンズホスピタルの助産師矢部美希氏を講師として「助産師さんから未来のお母さんへ～10代の性とからだ～」をテーマにパワーポイントで性感染症や妊娠の仕組みについて学びました。また、実寸大の胎児、新生児人形を抱っこして、大きさや重さを体験しました。

護身術教室では、2人1組のペアを作り、北海道警察護身術訓練指導者（ASEDEL）チームのインストラクターを講師に、痴漢や不審者から身を守る実践的な指導を受けました。

少年からは「性感染症の怖さを知った」、「おなかの中の赤ちゃんって思ったよりも大きくて重かった」、「護身術を学べて良かった」、などの感想が寄せられました。

母親たちからは「親子でこのような教室に参加したことがなかったので、良い体験ができました。」との感想が寄せられました。



パワーポイントを見ながら話を聞きました



実寸大の胎児、新生児人形たち



実際に抱っこしました！



みんなで護身術を習いました